

分析・分取業務を 全て自動化します!



研究者が創造的な業務に専念することが年々強く求められる一方、そのリソースは創造的ではない業務に圧迫されている実情があります。

Jeanious One LC + Robot による、分析・分取業務の規格化・デジタル化・ロボット化を通じて、高品質で再現性の高いデータを自動で取得できる研究環境を実現いたします。

対応範囲

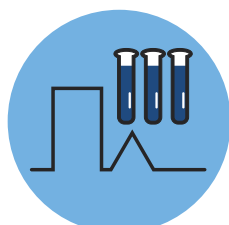
化学合成した低分子化合物やペプチド、オリゴ核酸の分析・分取に対応



サンプル溶解



スクリーニング分析



分取



濃縮



QC分析

Jeanious One LC + Robot 3つのアプローチ

必要最小限の分析・分取ワークフローを構築すべく、はじめに装置と装備品の組み合わせを「規格化」します。その上で、分析・分取条件を自動作成できるソフトウェアを導入することで、スピード性と高い成功確率の両立が実現。さらにロボットを導入することで、分析・分取業務が自動化され、ラボオートメーションシステムが完成します。

1 規格化



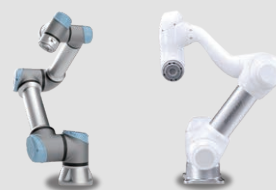
分析・分取を成功させるために最適な装置やカラムなどの組み合わせ・設定・運用方法を設計し、お客さまの実験環境に導入。

2 デジタル化



わずか数分のテスト分析結果から、最適な分析または分取条件を自動設計するオリジナルソフトウェアを提供。

3 ロボット化



実験作業をロボットが実行することで、24時間365日を有効活用できる分析・分取環境を実現。

実現できること

これまで孤立していた「分析・分取・濃縮」の各プロセスを、シームレスに連動させることで一気通貫での処理が可能



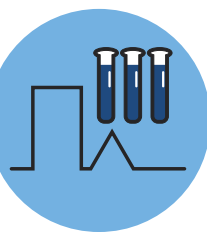
スクリーニング分析

分析条件は事前設定済み。サンプル名と分子量を入力するだけで分析スタート



結果解析

スクリーニング分析の結果は自動で解析され、分取条件も自動で作成



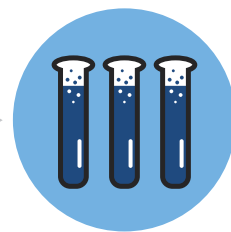
分取

対象サンプルを選択するだけで、分取条件を分取装置に反映可能



位置提案

分取結果をもとに、遠心濃縮機におけるフラクションのセット位置は自動で提案



濃縮

バランス調整の手間は不要。指定位置にフラクションをセットするだけで遠心濃縮可能

● 導入実績

医薬品研究

化学品研究

品質分析

受託合成

● 対応モダリティ

低分子化合物

ペプチド(直鎖・環状)

オリゴ核酸

● 用途

スクリーニング分析から分取

スクリーニング分析から最適分析



実験作業の「ロボット化」で完成するラボオートメーション！

豊富な導入実績を誇る「ラボオートメーションシステム(ロボット活用)」により、既存の実験環境、機器をそのまま活かして、お客様の分析・分取に関わる一連の作業を高精度で自動化します。



導入の流れ

● ゴール設計

お客さまへのヒヤリング実施を通じて、目的達成に最適な装置や備品を検討し、取り組みの範囲や程度をご提案。



● フィジビリティ確認試験

実際にお客さまのサンプルを使用し、お客さまの目的に適した装置環境・ソフトウェアを設計。



● Jeanious One LC 導入

分析・分取装置や備品をご準備いただき、現地でセットアップを実施。実験実施方法や装置のメンテナンスをレクチャーし、マニュアルを提供。



● ロボット導入

自動化範囲に応じて要件定義を行い、最適な仕様を検討。現地でロボットのセットアップを実施。使用方法をレクチャーし、マニュアルを提供。



● アフターサポート

セットアップ完了後も、お客さまが自立自走できるようサポートを継続。トラブルに関するお問い合わせへの対応やアップデートも実施。

